

大阪大学大学院理学研究科博士前期課程学生募集要項

平成30年4月 及び 平成29年10月 入学者用

1. 大学院学生の受入方針（アドミッション・ポリシー）

【大阪大学アドミッション・ポリシー】

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、学部又は大学院（修士）の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

【理学研究科アドミッション・ポリシー】

上記に加えて、理学研究科では教育目標に定める人材として相応しい、下記のような人を多様な方法で受け入れるために、社会人や留学生などの受入も対象として、各専攻の実施する筆記試験や口頭試問による複数の入試を行っています。

- ・大学の理系学部における教育課程を修了、もしくは同等の能力を身につけている人。
- ・自然科学に知的好奇心を持ち、真理探究に喜びを感じる人。
- ・博士前期課程では、理系学部における教養および専門教育を修了した程度の基礎学力とコミュニケーション能力を身につけている人。
- ・博士後期課程では、修士の学位を取得した程度の研究遂行能力を有し、博士の学位を取得して社会で活躍することを目指す人。

理学研究科各専攻の学位プログラム（教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）については、下記ホームページ（QRコード利用可能）を参照してください。

http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/admissions_d/



2. はじめに

理学研究科には、下記の6つの専攻があります。

理学研究科全体及び各専攻の詳細については、下記ホームページを参照してください。

理学研究科	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/
数学専攻	http://www.math.sci.osaka-u.ac.jp/index.html
物理学専攻	http://www.phys.sci.osaka-u.ac.jp/index-jp.html
化学専攻	http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/graduate/chem/index-jp.html
生物科学専攻	http://www.bio.sci.osaka-u.ac.jp/index.html
高分子科学専攻	http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/graduate/mms/index.html
宇宙地球科学専攻	http://www.ess.sci.osaka-u.ac.jp/top1.html

専攻紹介冊子の郵送を希望する場合は、往信用封筒の表に「**博士前期課程〇〇専攻紹介冊子請求**」と朱書きし、理学研究科大学院係宛に送ってください。送付先（郵便番号・住所・氏名）を明記し、250円分（1冊の場合）の郵便切手を貼付した返信用封筒（角2・24 cm × 33 cm、A4の冊子が入るサイズ）を同封してください。（なお、数学専攻、高分子科学専攻は冊子を作成していません。）

3. 書類提出先・不明点等の照会先

〒560-0043 豊中市 待兼山町 1-1 大阪大学 理学研究科 大学院係
TEL: 06-6850-5289 E-mail: ri-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp

4. 選抜方法等（専攻別募集人員・試験日時・科目・試験場）

試験は理学研究科（豊中キャンパス）内で行い、筆記試験、口頭試問、学業成績証明書及び研究分野等希望調書を総合して合否判定します。試験室等については、「受験票」等送付の際に通知します。

なお、平成29年10月入学の募集は化学専攻・高分子科学専攻のみ実施します。

専攻	募集人員		筆記試験			口頭試問 有資格者 発表日時 ※①②	口頭試問日時 ※①
	平成29年 10月入学	平成30年 4月入学	期日※①	時間	科目		
数学		32名	8月23日(水)	9時～12時 13時30分～16時30分	数学A 数学B	8月24日 (木) 12時	8月24日(木) 13時～18時 8月25日(金) 10時～12時30分
			8月24日(木)	10時～11時30分	英語		
物理学 ※③		68名	8月29日(火)	9時～12時30分	物理	8月30日 (水) 9時	8月30日(水) 10時～18時 8月31日(木) 9時30分～13時
宇宙地球科学		28名		14時～15時	英語		
化学	若干名	60名 ※④	8月28日(月)	13時～14時20分 14時50分～17時20分	英語 化学	全員実施	8月29日(火) 10時～
生物科学		34名	7月29日(土)	10時～12時	英語	7月30日 (日) 10時	7月30日(日) 13時30分～17時
				13時～15時	生物学 等※⑤		
高分子科学	若干名	24名	8月7日(月)	10時～11時30分	英語	8月8日 (火) 11時	8月8日(火) 13時～
				13時～14時30分	化学Ⅰ		
				15時～16時	化学Ⅱ		

※注意

- ① 全て平成29年の日付。
- ② 指定した日時に、理学研究科正面玄関において掲示により行います。
- ③ 物理学専攻と宇宙地球科学専攻は合同で試験を行います。
- ④ 化学専攻はAコース（無機及び物理化学）とBコース（有機化学）があり、募集人員はそれぞれ約30名です。
- ⑤ 生物科学専攻はAコース（生命理学）とBコース（生物科学）があります。詳細は出願書類16枚目「生物科学専攻志願者への注意」を参照してください。

5. 合格者発表等

専攻	合格者発表日時 ※	入学手続受付日時（各専攻共通）
数学	平成29年9月1日(金) 13時	◇平成30年4月入学 詳細は、平成30年2月下旬頃に郵送する入学 手続案内文書でお知らせします。
物理学	平成29年9月7日(木) 13時	
化学	平成29年9月7日(木) 13時	◇平成29年10月入学 平成29年9月13日(水) 9時30分～11時30分、13時～15時 理学研究科A棟内で行います。 詳細は、「合格者受験番号一覧表」郵送時に 同封する入学手続案内文書でお知らせします。
生物科学	平成29年8月10日(木) 13時	
高分子科学	平成29年8月24日(木) 13時	
宇宙地球科学	平成29年9月7日(木) 13時	

※注意

合格者発表は、指定した日時に理学研究科正面玄関において合格者受験番号の掲示により発表します。発表後、受験者全員に「合格者受験番号一覧表」を郵送します。なお、合否に関する問い合わせには応じません。

6. 不測の事態が起こった場合について

不測の事態が起こった場合、入学試験の実施を延期することもありますのでホームページで必ず確認してください。

http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/admissions_d/

7. 出願資格

(平成 30 年 4 月入学か平成 29 年 10 月入学かをよく確認してください。)

次の各号のいずれかに該当する者が、出願できます。(9)、(10)により出願を希望する場合は、「出願資格の審査」を行いますので、「8. 出願資格の審査」を注意深く読んでください。

[平成 30 年 4 月入学の場合]

- (1) 大学を卒業した者又は平成 30 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は平成 30 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号参照）
- (9) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

[平成 29 年 10 月入学の場合]

- (1) 大学を卒業した者又は平成 29 年 9 月 30 日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は平成 29 年 9 月 30 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 29 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 29 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成 29 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の

指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は平成 29 年 9 月 30 日までに修了見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成 29 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号参照)
- (9) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であつて、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 29 年 9 月 30 日までに 22 歳に達する者

8. 出願資格の審査

前記出願資格(9)、(10)による出願を希望する者については事前審査を行います。下表の書類を平成 29 年 6 月 15 日(木)までに理学研究科大学院係に提出してください。

なお、郵送による場合は書留郵便とし、封筒の表に「**博士前期課程〇〇専攻出願資格審査申請**」と朱書のうえ、期限までに必着とします。(宛先は「3. 書類提出先・不明点等の照会先」参照)

出願資格審査申請書	本研究科所定の用紙に記入してください。
出願資格審査調書	
研究経験及び業績調書	
最終出身学校の卒業(中退)及び成績証明書	最終出身学校を中退した場合には、直前の出身学校の卒業及び成績証明書(学校長名等で発行されたもの)も提出してください。
返信用封筒(審査結果送付分)	定形の封筒に送付先(郵便番号・住所・氏名)を明記し、362 円分の郵便切手を貼付してください。

出願資格審査の結果は、平成 29 年 6 月 28 日(水)までに本人宛通知します。出願の資格が認められた者は、募集要項に基づき所定の出願手続を行ってください。

9. 英語による出題・解答のための審査

理学研究科博士前期課程の講義、演習、セミナーのほとんどが日本語により行われるため、学修において十分な日本語の能力が必要です。ただし、物理学専攻、生物科学専攻、宇宙地球科学専攻は、英語による出題・解答を希望する者に対して、事前の審査を経てこれを認める場合があります。

上記 3 専攻の入試で、英語による試験問題の出題および解答を希望する者は、下記の書類を平成 29 年 6 月 15 日(木)までに理学研究科大学院係に提出してください。希望理由が正当であり、かつ短期間の日本語訓練などによって日本語による学修が可能であると判断された場合には、英語により出題し、英語による解答を認めます。審査結果は平成 29 年 6 月 28 日(水)までに本人宛に通知します。英語による受験が認められた場合には、募集要項にしたがって所定の出願手続を行ってください。

出願資格(1)～(8)により出願予定の者

学業成績証明書	出身大学の学部長(学長)名で発行されたもの。
英語による出題・解答を希望する理由書	以下の内容を日本語で明記してください。 「出願者氏名」 「連絡先(電話番号、メールアドレス)」 「出願を希望する専攻名」 「英語による出題・解答を希望する理由」
日本語学習歴	学校等で日本語教育を受けた場合は、教育機関名、その在籍期間を明記してください。
返信用封筒	定型の封筒に送付先(郵便番号・住所・氏名)を明記し、362 円分の郵便切手を貼付してください。 ※海外から出願する場合には、切手を貼付する必要はありません。

出願資格（9）、（10）により出願予定の者

出願資格審査に必要な書類	「8. 出願資格の審査」箇所を参照してください。 ※海外からの応募の場合には、返信用封筒に切手を貼付する必要はありません。
英語による出題・解答を希望する理由書	以下の内容を日本語で明記してください。 「出願者氏名」 「連絡先（電話番号、メールアドレス）」 「出願を希望する専攻名」 「英語による出題・解答を希望する理由」
日本語学習歴	学校等で日本語教育を受けた場合は、教育機関名、その在籍期間を明記してください。

10. 出願手続等

出願しようとする者は、指定された書類を揃えて、理学研究科B棟1階B102会議室で提出するか、又は大学院係宛郵送してください。郵送により出願する場合は、必ず書留郵便とし、封筒の表に「**博士前期課程〇〇専攻入学願書在中**」と朱書きしてください。

- (1) 出願期日 平成29年 7月6日(木)、7月7日(金)、7月10日(月)
受付時間 9時30分～11時30分、13時30分～15時

出願期日後に到着したものは受理しません。ただし、7月8日(土)までの消印のある書留郵便に限り、期日後に到着した場合でも受理します。

- (2) 検定料 30,000円

1. 所定の検定料振込用紙を使い、銀行振込(電信扱)により納入してください。
(納入期間：平成29年6月15日(木)～平成29年7月10日(月))
※ 銀行(ゆうちょ銀行以外)の窓口で振込手続きをしてください。郵便普通為替・現金では納入できません。ATM(現金自動預払機)、ゆうちょ銀行からの振込みもできません。
※ 入学時に日本政府国費外国人留学生として在学する場合は、検定料の納入は不要です。
2. 検定料振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに検定料を添えて銀行窓口へ提出してください。振込手数料は各自で負担してください。
3. 振込後、検定料納入証明書(取扱銀行収納印のないものは無効)を切り離し、検定料納入証明書貼付用紙の所定欄に貼付してください。振込金(兼手数料)受領書は各自保管してください。
4. 振り込まれた検定料は原則返還しません。ただし、次の場合は返還します。
 - (1) 出願書類を提出しなかった場合、又は受理されなかった場合
 - (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
 - (3) 納入不要者が誤って振り込んだ場合
 ※返還手続については理学研究科大学院係へ問い合わせてください。

- (3) 出願書類

出願資格(1)～(8)の者は8頁の表で、出願資格(9)、(10)の者は9頁の表で確認してください。

11. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 282,000 円 (予定)
- (2) 授業料 年額 535,800 円 (半期 267,900 円) (予定)

入学料及び授業料の納入時期、納入方法等の詳細については、別途入学手続案内文書送付 (2 頁「5. 合格者発表等」参照)の際に通知します。

- ※1. 日本政府国費外国人留学生として在学する場合は、入学料、授業料とも納入不要です。
- ※2. 入学料・授業料の金額については、変更することがあります。
- ※3. 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

12. 注意事項

- (1) 提出書類、封筒は全て、黒のインク又は黒ボールペン(消せるボールペンは使用不可)を使用し、楷書で記入してください。
- (2) 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (3) 入学願書の履歴、入学資格等につき虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更はできません。
- (5) 障がい等のある者で、受験や修学に際して特別な配慮を必要とする者は、平成 29 年 6 月 15 日(木)までに理学研究科大学院係へ問い合わせてください。
- (6) **受験票が平成 29 年 7 月 21 日(金)までに届かない場合は、理学研究科大学院係へ必ず問い合わせ**てください。
- (7) 国公立の研究機関や企業の研究者、高等学校教諭などの社会人が在職のまま入学する場合は、入学手続の際に所属長等が発行した「入学承諾書」又はそれに相当する書類を提出してください。(様式随意)

13. 入試情報(個人成績等)の開示

平成 30 年度 4 月入学の入学試験における個人成績等について、開示を希望する受験生本人(代理人は不可)に対し、次のとおり行います。

(開示内容)

①	総合点	筆記試験、口頭試問等の合計点
②	最高点	合格者の中での最高点(本人が受験した専攻のみ開示)
③	順位	5 段階に区分

(申込方法)

開示希望者は下記の受付期間内に所定の書類等を、書留郵便(封筒の表に「博士前期課程入学試験情報開示申請書在中」と朱書き)にて理学研究科大学院係に送ってください(宛先は「3. 書類提出先・不明点等の照会先」参照)。

申込受付期間：平成 29 年 9 月 27 日(水)～10 月 6 日(金) (必着)

入学試験情報開示申請書	所定の用紙に記入してください。
受験票の写し	
返信用封筒	定形(長形 3 号)の封筒に送付先(郵便番号・住所・氏名)を明記し、郵便切手 402 円分を貼付してください。

※ 情報開示の通知には、申請書の受理後、約 1 ヶ月かかります。

14. 個人情報の取扱いについて

出願時に提出された氏名、住所等の連絡先、試験成績等の個人情報は、入学者選抜業務、入学案内業務及び入学後各種業務（教務・学生支援関係、授業料収納関係 等）のために利用します。

15. 第2次募集に関するお知らせ

博士前期課程の平成30年4月入学者にかかる第2次学生募集については、以下の予定です。

- ・ 数学専攻は、第2次学生募集の実施の有無等については、9月上旬に理学研究科ホームページにてお知らせします。
- ・ 生物科学専攻と宇宙地球科学専攻は、第2次学生募集を実施します。募集要項は、8月末（予定）に理学研究科ホームページで公表します。
- ・ 高分子科学専攻は、合格者が募集人員に満たない場合、あるいは受入可能研究室で配属学生がゼロの研究室がある場合に、第2次学生募集を行います。実施の有無等については、9月上旬に理学研究科ホームページにてお知らせします。なお、第2次募集に出願するためには、TOEFL (TOEFL-iBT または TOEFL-PBT のみ有効) または TOEIC (TOEIC テストのみ有効、団体特別受験制度 (IP Institutional Program) は無効) の成績証の提出が必要です。成績証は、平成27年11月以降に受験した成績のみを有効とします。
- ・ 物理学専攻と化学専攻は、第2次学生募集は実施しません。

16. 参考情報

1. 長期履修学生制度について

この制度は、職業を有している等の事情により標準修業年限内での修学が困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。長期履修が許可された場合、通常の修業年限（博士前期課程は2年間）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。ただし、授業料が改定された場合、または長期履修期間に変更があった場合には、授業料が見直されます。長期履修学生制度の詳しい内容については、理学研究科大学院係まで問い合わせください。

2. 博士課程教育リーディングプログラムについて

大阪大学には、博士課程教育リーディングプログラムと呼ばれる新しい大学院プログラムがあります。このプログラムは、研究科における従来の教育・研究活動に加えて、広く社会とのかかわりのなかで展開するコースワークによって、俯瞰力と、社会に生きる独創性を身につけることにより、国際的に、広く社会で活躍するリーダーとなる人材育成を目指しています。

理学研究科博士前期課程の合格者は、下記の博士課程教育リーディングプログラムに応募することができます。詳細は各プログラムのホームページを参照してください。

プログラム名	対象専攻	HP URL
インタラクティブ物質科学 ・カデットプログラム	物理学専攻 化学専攻 高分子科学専攻	http://www.msc.osaka-u.ac.jp

出願書類リスト [出願資格（１）～（８）の場合]

受験生本人が「提出者」欄で該当する全ての書類を準備し、チェック欄で不足・不備がないことを確認のうえ、出願手続きしてください。

出願書類	提出者	留意事項	チェック欄
1. 入学願書	全員	所定の用紙に記入してください。	<input type="checkbox"/>
2. 学業成績証明書	全員	出身大学の学部長（学長）名での発行を要します。	<input type="checkbox"/>
3. 卒業（見込）証明書	全員	出身大学の学部長（学長）名での発行を要します。大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方は、同機構が発行する「学士の学位授与証明書」を提出してください。また、同機構に学士の学位授与申請をする予定の方は、短期大学長又は高等専門学校長が発行する「学位授与申請（予定）証明書」を提出してください。	<input type="checkbox"/>
4. 研究分野等希望調書	全員	各専攻所定の用紙に「大学院において専攻する研究分野の希望等」を記入して提出してください。	<input type="checkbox"/>
5. 受験者写真票及び受験票	全員	上半身、脱帽、正面向き、3ヶ月以内に単身撮影した写真（縦4cm×横3cm）の裏面に志望専攻、氏名を記入し、所定欄に貼付してください。	<input type="checkbox"/>
6. 検定料納入証明書	全員 （日本政府国費外国人留学生を除く）	銀行窓口で検定料を納入し、取扱銀行収納印のあるものを検定料納入証明書貼付用紙の所定欄に貼付してください。 ※入学時に日本政府国費外国人留学生として在学する場合は、提出不要です。	<input type="checkbox"/>
7. 返信用封筒（2種類）	全員	以下2種類の封筒に送付先（郵便番号、住所、氏名）を明記して出願時に提出してください。 ・長形3号（120×235mm）封筒に郵便切手372円分を貼付（1通） ・角形2号（240×332mm）封筒に郵便切手530円分を貼付（1通）	<input type="checkbox"/>
8. 入学手続案内等送付票	全員	所定の用紙に送付先を記入してください。	<input type="checkbox"/>
9. 住民票の写し	外国人	市区町村長発行の在留資格および在留期間を明記した「住民票の写し」（未登録の者は旅券の写し）を提出してください。 ※1 出願者以外の世帯員については証明不要です。 ※2 外国人のみ提出してください（法務大臣が日本での永住を認めた者については提出不要です。）。	<input type="checkbox"/>
10. 国費外国人留学生証明書	日本政府国費外国人留学生	日本政府国費外国人留学生のみ提出してください。	<input type="checkbox"/>

出願書類リスト [出願資格（9）、（10）の場合]

受験生本人が「提出者」欄で該当する全ての書類を準備し、チェック欄で書類の不足・不備がないことを確認のうえ、出願手続きしてください。

出願書類	提出者	留意事項	チェック欄
1. 入学願書	全員	所定の用紙に記入してください。	<input type="checkbox"/>
2. 研究分野等希望調書	全員	各専攻所定の用紙に「大学院において専攻する研究分野の希望等」を記入して提出してください。	<input type="checkbox"/>
3. 受験者写真票及び受験票	全員	上半身、脱帽、正面向き、3ヶ月以内に単身撮影した写真（縦4cm×横3cm）の裏面に志望専攻、氏名を記入し、所定欄に貼付してください。	<input type="checkbox"/>
4. 検定料納入証明書	全員 (日本政府国費外国人留学生を除く)	銀行窓口で検定料を納入し、取扱銀行収納印のあるものを検定料納入証明書貼付用紙の所定欄に貼付してください。 ※入学時に日本政府国費外国人留学生として在学する場合は、提出不要です。	<input type="checkbox"/>
5. 返信用封筒（2種類）	全員	以下2種類の封筒に送付先（郵便番号、住所、氏名）を明記して出願時に提出してください。 ・長形3号(120×235mm)封筒に郵便切手372円分を貼付(1通) ・角形2号(240×332mm)封筒に郵便切手530円分を貼付(1通)	<input type="checkbox"/>
6. 入学手続案内等送付票	全員	所定の用紙に送付先を記入してください。	<input type="checkbox"/>
7. 住民票の写し	外国人	市区町村長発行の在留資格および在留期間を明記した「住民票の写し」（未登録の者は旅券の写し）を提出してください。 ※1 出願者以外の世帯員については証明不要です。 ※2 外国人のみ提出してください（法務大臣が日本での永住を認めた者については提出不要です。）。	<input type="checkbox"/>
8. 国費外国人留学生証明書	日本政府国費外国人留学生	日本政府国費外国人留学生のみ提出してください。	<input type="checkbox"/>

本募集要項に係る各専攻の研究内容及び指導教員

(平成 30 年度)

数 学	<p>関数解析学、微分方程式論、複素解析学、確率論、代数学、整数論、代数幾何学、微分幾何学、位相幾何学、複素多様体論、情報数学、数理物理学、数理工学、実験数学などについて講義と研究指導を行います。指導教員（教授・准教授）および研究内容の詳細は、数学専攻ホームページ（http://www.math.sci.osaka-u.ac.jp/staff.html）や冊子「大阪大学大学院理学研究科紹介」をご覧ください。</p>
物 理 学	<p>(1) 素粒子、重力、原子核構造・反応、物性、統計、初期宇宙などに関する理論。 (2) 高エネルギー物理学、素粒子反応・構造及び原子核反応・構造に関する実験と加速器開発。 (3) 固体、液体、気体の示す電氣的、磁氣的、光学的特性や超伝導、ナノサイエンス、極限物性、生物物理などに関する実験。</p> <p>青井 考・阿久津泰弘・浅川正之・大岩 顕・大野木哲也・小口多美夫・兼村晋哉・菊池 誠・木村真一・久野良孝・黒木和彦・越野幹人・小林研介・千徳靖彦・田島節子・豊田岐聡・中野貴志・能町正治・野海博之・萩原政幸・橋本幸士・花咲徳亮・福田光宏・藤岡慎介・保坂 淳・山中 卓・與曾井優 各教授</p>
化 学	<p>(1) [A コース] 無機及び物理化学の分野を究めるのに必要な分析化学、放射化学、無機化学、錯体化学、生物無機化学、物性物理化学、表面化学、化学熱力学、量子化学、反応物理化学、生物物理化学、構造物性化学、生体分子動力学などについて講義と研究指導を行います。</p> <p>石川直人・上田貴洋・岡田美智雄・奥村光隆・小林 光・今野 巧・篠原 厚・谷口正輝・塚原 聡・中澤康浩・中野元裕・藤原敏道・船橋靖博・松本卓也・水谷泰久・山口和也・吉村 崇・栗山信宏・松原一郎・鎌田賢司 各教授</p> <p>(2) [B コース] 構造有機化学、物性有機化学、生体分子化学、有機生物化学、天然物有機化学、精密制御化学、機能物質化学、蛋白質有機化学、プロテオミクス分析化学など広範な有機化学の分野について講義と研究指導を行います。</p> <p>小川琢治・梶原康宏・久保孝史・笹井宏明・高尾敏文・中谷和彦・深瀬浩一・北條裕信・村田道雄・上垣浩一・熊谷久美子・島本啓子・杉山 成・田中啓文・西尾秀喜・林 文晶 各教授</p>
生 物 科 学	<p>生体高分子（蛋白質など）および超分子装置の構造と機能、遺伝子発現・複製、細胞周期、発生・分化・生長、運動・生体エネルギー代謝および神経分化・感覚・記憶・体内時計などの機序と制御、環境馴化・適応・進化の実態などの解明をめざし、ジェノミクス、プロテオミクス、有機化学、物理化学、構造生物学、超分子構造学、分子生物学、生化学、細胞生物学、生理学、システム生物学、系統進化学、自然史学などの様々な視点から講義と研究指導を行います。本専攻では従来のカリキュラム（Bコース（生物科学））に加えて、分野融合を目指した人材を養成するための新たなカリキュラム（Aコース（生命理学））を新設しました。</p> <p>[A、B両コース担当]</p> <p>上田昌宏・岡田雅人・岡田真里子・小布施力史・柿本辰男・栗栖源嗣・黒田俊一・後藤祐児・昆 隆英・志賀向子・篠原 彰・高尾敏文・高木淳一・高木慎吾・中川敦史・西田宏記・原 英二・原田慶恵・疋田貴俊・平岡 泰・藤原敏道・古川貴久・北條裕信・松野健治・三木裕明・蘇 智慧・橋本主税・原口徳子 各教授</p> <p>[Aコース専任]</p> <p>今田勝巳・梶原康宏・佐藤尚弘・山口浩靖 各教授</p>
高 分 子 科 学	<p>高分子科学の研究を行うために必要な教育を、講義及び研究指導を通じて行います。特に、高分子の合成・反応・化学構造などの高分子化学、高分子の光物性・固体構造・溶液及び融体の静的及び動的特性などの高分子物理化学、蛋白質・多糖などの生体高分子の構造・機能に重点をおきます。</p> <p>青島貞人・井上正志・今田勝巳・鬼塚清孝・栗栖源嗣・後藤祐児・佐藤尚弘・中川敦史・橋爪章仁・山口浩靖・山本 仁 各教授</p>
宇 宙 地 球 科 学	<p>物理学的手法を基盤とし、宇宙・銀河・星・惑星・地球・物質・生命の起源と進化に関して、伝統的な天文学や地球惑星科学とは異なった視点から理論的・観測的・実験的および数値シミュレーションによる研究を推進しています。宇宙物理、X線や赤外線による天体観測、物性理論、極限環境下の固体物性、地球惑星の構造、地球外物質、地球史、太陽系の起源と進化、太陽系探査等についての講義と研究指導を行います。</p> <p>川村 光・近藤 忠・佐々木 晶・芝井 広・寺田健太郎・中井光男・中嶋 悟・長峯健太郎・松本浩典 各教授</p>